



長野県中野市との地方創生に係る包括連携協定の締結について

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、長野県中野市（市長：湯本 隆英、以下「中野市」）、および株式会社損害保険ジャパン（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）と「健康増進および高齢者支援」に向けた地方創生に係る包括連携協定を締結するとともに、Neurotrack Technologies, Inc.（Co-Founder and CEO：Elli Kaplan、以下「ニューロトラック社」）と連携して、認知機能低下予防の取組みを開始します。

1. 背景・目的

中野市は「健康長寿のまち」として、「健康寿命の延伸」を目標に掲げ、健康づくりと疾病の予防・疾病の早期発見・適切な治療による疾病の重症化予防さらには介護予防等の実践や取組みを行っています。

当社は「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスの提供し、社会に貢献する」というSOMPOグループの経営理念のもと、市民・行政・NPO・NGOなど、さまざまなステークホルダーとの協働を通じ、「よりよいコミュニティ・社会をつくること」をCSR（企業の社会的責任）の重点課題のひとつとしています。また、お客さまの健康に寄り添う「健康応援企業」の確立を目指しています。

中野市、損保ジャパン、当社の間で理念・取組みを共有しあう中で、社会的な課題となっている「認知機能低下予防」への思いが一致したことから、このたび「健康増進および高齢者支援のための協定」を結ぶこととなりました。また、中野市民の皆さまへのさらなるサービスの向上と地域活性化に貢献することを目的として、認知機能低下予防のコンテンツを持つニューロトラック社を含めた4者での取組み開始に合意しました。

2. 取組み概要・実現すること

高齢者に対する取組みのひとつとして、中野市が運営する高齢者向けの教室や講座においてニューロトラック社の提供するスマートフォンアプリ「脳ケア」を配布し、アプリを活用いただくことで、認知機能低下予防に向けた活動を中野市民に広げます。また、高齢者だけでなく、特定保健指導対象者にも同アプリを提供し、認知機能低下の早期予防に向けた活動を行います。

中野市とニューロトラック社、損保ジャパン、当社の連携により、中野市民の認知機能低下予防・健康づくりに貢献し、地方自治体における認知機能低下予防のモデルケース構築を目指します。

3. 今後について

当社は、今後も地方自治体と連携し、各地域の特徴を活かした自立的で持続的な社会の創造と、住民の皆さまの健康増進に貢献していきます。

【別紙】

締結式の様子



写真 左：損保ジャパン 小林長野支店長、中央：湯本中野市長、右：当社 大野長野支社長